

＜白金標準先物、22 日のパウエル FRB 議長の証言待ち＞



(出所：オアシス)

金標準先物と同様に白金標準先物も FOMC を機に売り込まれる動きを見せている。そのため今週は 4148 円の戻り高値から週末には 3680 円まで下げており 468 円の下落を行っている。特に FOMC 前の週末 11 日の段階で白金標準先物の取組高で個人委託計は 10354 枚売り:19317 枚買いで 8963 枚の買い越しであったことから、7 月 1 日発表の 25 日残では玉整理が進んでいる可能性は高いと思われる。

また 22 日には FOMC 以降で初めてパウエル FRB 議長が下院議会で議会証言を行う予定であり、市場はテーパリング以上に金利引き上げまで織り込む動きを示しているだけに、織り込み過ぎた巻き戻しが起こるタイミングと見る事も出来る事から下げ渋る展開に備えるのが無難と思え、自律反発に伴う 3800 円に向けた戻りが予想される。

(2021 年 6 月 20 日記載)

＜テクニカル＞

MACD は 5 月の売りクロスから下げ続けながら、今週に **MACD** と **シグナル** の乖離を示すヒストグラムの拡大を示している。また RCI (短期、長期) では長期が -90% 以上を維持しており、弱気の継続を示している。しかし **短期** が下げ渋りを見せている。特に **200 日移動平均線** に日足が届いており、下げ渋る抵抗も予想される事から売り玉の「利食い千人力」の場所でないか。

NYMEX 指定倉庫在庫 (トロイオンス) : 699,200 (前週比+22,217)

世界プラチナ ETF 残高 (トン) : 75.02 (前週比+0.47)